



| | |
|--|---|
| コーデックス栄養・特殊用途食品規格部会 (CCNFSDU) における 食物繊維に関する討議について | 1 |
| 日本食物繊維研究会第8回学術集会プログラム | 2 |
| 編集委員会より | 8 |

コーデックス栄養・特殊用途食品規格部会 (CCNFSDU) における 食物繊維に関する討議について

独立行政法人 国立健康・栄養研究所
山田 和彦

CCNFSDU 部会においては、①栄養成分表示の強調表示規格基準作成の観点からの討議、②栄養表示におけるエネルギー換算に関し国際的に統一しようとする観点からの討議がなされてきている。前者の場合、栄養強調表示ガイドラインは既にコーデックスで採択(1997)されているが、食物繊維の定義と測定法に関する部分が確定していない。ドイツをはじめとする数カ国は、食物繊維の定義を植物由来のものとすべきとの意見がある。米国・カナダは、National Academy of Science による報告書(<http://books.nap.edu/catalog/10490.html>)での食物繊維の定義を紹介し、全食物繊維 (Total Fiber) とは食物繊維 (Dietary Fiber) 及び、機能性繊維 (Functional Fiber) の総和であり、食物繊維 (Dietary Fiber) とは植物に固有の手を加えていない難消化性糖質及びリグニンであり、機能性繊維 (Functional Fiber) とは、単離された難消化性糖質であって動物起源のものを含み、ヒトに対する生理的効果の科学的証拠のあるものとしている。日本は、ヒトの消化酵素により消化されない食品成分の総体とし動物由来のものも含むとすることを主張し、それに応じた分析法の採択を提案している。現在、フランスが、他国 (日本も参加) の協力を得て、特に定義、分析法及び強調表示の条件について、資料(CX/NFSDU 03/3 http://www.codexalimentarius.net/ccnfsdu25/nf03_01e.htm)を作成し今回の部会(2003年11月)で討議する。一方、エネルギー換算係数に関しては、オーストラリアより新規作業の提案と検討資料(CX/NFSDU00/11; ftp://ftp.fao.org/codex/ccnfsdu22/nf00_11e.pdf, CX/NFSDU 01/9; ftp://ftp.fao.org/codex/CCNFSDU23/NF01_09e.pdf)が提出されたが、確実な科学的根拠を待たずに始めることに疑問指摘がなされた。部会としては作業の重要性を認識しつつも時期尚早であり、専門家会議の知見を受けて直ちに議論することとしている。FAOでは“Food Energy: Methods of Analysis and Conversion Factors”に関する専門家会議が2002年12月に開かれ、最終報告書(ftp://ftp.fao.org/es/esn/nutrition/nutrition_paper_77.pdf)がこの10月中旬にウェブサイトに掲載された。今後の検討資料となる予定である。日本の食事摂取基準、栄養表示基準、食品標準成分表、国民健康栄養調査にも大きく係わることであり、国際的な視点を強く認識することが、今後さらに重要となる。

第8回学術集会プログラム

会場 阿波観光ホテル（徳島市）

会長 郡 英明（株式会社 大塚製薬工場）

1. 行事日程

11月21日（金）

- 8:15～ 9:00 幹事会（302）
- 9:00～11:20 一般講演発表（4Fダイヤモンドパレス）
- 11:40～12:40 評議員会・総会（4Fダイヤモンドパレス）
- 12:40～13:40 昼食
- 13:40～14:40 特別講演（4Fダイヤモンドパレス）
- 14:50～18:00 シンポジウム－1（4Fダイヤモンドパレス）
- 18:30～20:30 懇親会（3Fロイヤルパレス）

11月22日（土）

- 9:00～10:00 一般講演発表（3Fロイヤルパレス）
- 10:00～12:40 シンポジウム－2（3Fロイヤルパレス）

2. 参加者への御案内

1) 学術集会の受付

受付は開始30分前より行います。参加費（講演要旨集込み）として、
会員3,000円、学生会員1,500円、非会員は4,000円を申し受けます。

2) 呼び出し、クローク、昼食、宿泊等の手配など

- ①ホテルのクロークをご利用下さい。
- ②昼食弁当などは用意致しませんので近くのレストランをご利用下さい。
- ③駐車場は限りがありますのでできるだけ公共の乗り物をご利用下さい。

3) 連絡先

日本食物繊維研究会第8回学術集会事務局

〒101-8535 東京都千代田区神田司町2-9

大塚製薬株式会社 製品部

児玉 健嗣 宛

Tel:03-3293-0822 Fax:03-3295-7508

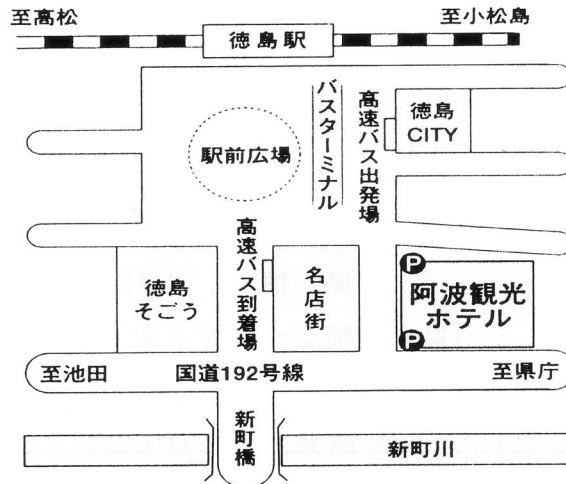
E-mail : kodamak@tky.otsuka.co.jp

4) 学術集会会場への交通案内

阿波観光ホテルへの交通手段は以下の通りです。

徳島空港より車で20分（JR徳島駅までバスあり），JR徳島駅より徒歩で1分。

〒770-0833 徳島市一番町3-16-3 Tel: 088-622-5161 (代)



日本食物繊維研究会ホームページのご案内

日本食物繊維研究会のホームページを開設したことをお知らせしましたが、更新が遅く大変ご迷惑をおかけしました。今後は、できるだけ更新頻度を上げていきますのでどうかアクセスいただきますようお願いいたします。

<http://jdf.umin.ne.jp>

でご覧いただけます。

キーワード検索でも本会ホームページが見つかるように手配中ですのでしばらくお待ち下さい。まだアクセス件数が少ないですので是非一度ご覧いただき、ご意見をいただければと思います。

日本食物繊維研究会

日本食物繊維研究会誌 最新号ご紹介

総説
栄養研究における盲腸切除ラットの有用性

報文
In vitro the Antioxidant Activity of Lignophenol from Beech (*Fagus crenata* Blume) and Hinoki (*Cryptomeria japonica* D. Don)
高アミロース小麦デンプン中のレジスタントスターチ量と加熱処理の影響
オートミール含有クッキーの摂取が境界域および軽度高コレステロール血症の日本人男性の血清コレステロール値に及ぼす影響：有効性と安全性の検討

00972
最終更新日 08/19/2003

〒162-8636 東京都新宿区戸山1-23-1
独立行政法人国立健康・栄養研究所食品表示分析・規格研究部
TEL: 03-3203-5602 FAX: 03-3205-6549

日本食物繊維研究会
 Japanese Association for Dietary Fiber Research

Copyright (C) 1997-2002 JOURNAL OF JAPANESE ASSOCIATION FOR DIETARY FIBER RESEARCH

3. 一般講演プログラム

11月21日（金）

| 時刻 | 演題番号 | 演 題 |
|-----------------------------|------|--|
| 座長 : 岸田 太郎 (愛媛大学) | | |
| 9:00 | 1 | 飼料中のペクチンとおから食物繊維の小腸粘膜の消化酵素活性と形態に及ぼす影響 ○小貫順子 ¹ , 岡久美子 ¹ , 福田加奈美 ¹ , 池上幸江 ¹ , 山本恭子 ¹ , 青江誠一郎 ¹ , 今井智恵子 ² , 山田和彦 ² (大妻女子大学 ¹ , 国立健康・栄養研 ²) |
| 9:20 | 2 | ヒトおよびラット小腸粘膜二糖類水解酵素活性の比較とその特徴 ○奥 恒行 ¹ , 中村禎子 ¹ , 小川繁晴 ² , 貞森直樹 ³ (県立長崎シーボルト大・栄養健康 ¹ , 十善会病院 ² , 県立長崎シーボルト大・看護 ³) |
| 9:40 | 3 | ヒトにおけるマルチトール誘発下痢に対するグアーガム酵素分解物の抑制効果 ○中村禎子, 奥 恒行 (県立長崎シーボルト大・栄養健康) |
| 10:00 | 4 | 乳果オリゴ糖配合粉末飲料の摂取が健常女子大学生の排便および糞便内菌叢に及ぼす影響 ○宮井俊治 ¹ , 秋庭正典 ¹ , 村枝陽子 ² , 片山(須川)洋子 ² , 山下亀次郎 ³ (H+Bライフサイエンス ¹ , 福岡女子大・院 ² , 筑波記念病院 ³) |
| 座長 : 青江 誠一郎 (大妻女子大学) | | |
| 10:20 | 5 | ヒトの耐糖能および脂肪摂取後の血清中性脂肪上昇に及ぼすポリデキストロース摂取の影響 ○下村吉治, 長崎 大, 村上太郎, 松尾昌幸, 前田 憲 (名古屋工業大学大学院・工学研究科) |
| 10:40 | 6 | 卵巣摘出ラットにおける老化デンプンの血清コレステロール低下作用 ○岸田太郎, 澤内裕美, 海老原清 (愛媛大・農) |
| 11:00 | 7 | 高脂質・タンパク質食にワカメ投与のラット血清成分の影響 ○谷 政八 ¹ , 小林恭一 ² , 新庄絹代 ¹ , 池田涼子 ¹ , 谷 洋子 ¹ , 三谷勝己 ¹ (仁愛短大・生活科学 ¹ , 福井県食品加工研 ²) |

11月22日 (土)

| 時刻 | 演題番号 | 演 題 |
|--------------------------------|------|--|
| 座長 : 岡松 洋 (大塚製薬 (株) 大津栄養製品研究所) | | |
| 9:00 | 8 | 市販食物繊維によるラット糞便へのダイオキシン類排泄促進作用の検討 ○斎藤高雄, 野田恒行, 甲田哲之, 井上正一郎, 岡松 洋 (大塚製薬 (株) 大津栄養製品研究所) |
| 9:20 | 9 | 有機塩素系環境汚染物質の体内蓄積に関する食物繊維の影響 ○齊藤木綿子, 梅木美樹, 山本恭子, 堀口美恵子, 青江誠一郎, 池上幸江 (大妻女子大学) |
| 9:40 | 10 | 高脂血症, 糖尿病, 肝臓障害ラットに及ぼす機能性食品素材の影響 —安全性の検討— ○江頭祐嘉合, 土岐理津子, 野口武昭, 笹原祥吾, 真田宏夫 (千葉大・園芸・食品栄養) |

4. 特別講演

11月21日 (金)

| 座長 : 池田 義雄 ((株) タニタ体重科学研究所) | |
|------------------------------|---|
| 13:40 | Functional Foods: Nutrient Content Claims, Health Claims, & and Structure/Function Claims |
| 14:40 | Prof. Dennis T. Gordon (ノースダコタ州立大学) |



日本食物繊維研究会 市民公開講座

「食物繊維と生活習慣病」

日 時 : 11月22日 (土) 14:00~16:40

場 所 : 阿波観光ホテル

共 催 : 日本食物繊維研究会, 大塚製薬株式会社

総合司会 : 田所 忠弘 (東京農業大学)

- 1 食物繊維の健康への関わり
Diabetes, Foods and Functional Foods
Prof. Dennis T. Gordon (ノースダコタ州立大学)
- 2 食物繊維の性質と機能
池上 幸江 (大妻女子大学)
- 3 糖尿病と食物繊維
池田 義雄 ((株) タニタ体重科学研究所)
- 4 質疑応答

問合せ先 : 日本食物繊維研究会第8回学術集会事務局 児玉 健嗣 宛

5 . シンポジウム

11月21日（金） シンポジウム - 1

「摂食・嚥下障害の介護食品・食事の具備すべき性状と開発の現状」

| 時刻 | 演題番号 | 演 題 |
|--------------------|------|--|
| 座長：郡 英明（（株）大塚製薬工場） | | |
| 14:50 | 1 | 基調講演：摂食・嚥下障害の生理とリハビリテーションの現状 才藤 栄一（藤田保健衛生大学医学部） |
| 15:40 | 2 | 摂食・嚥下障害者用食品の物性とおいしさ 畑江 敬子（お茶の水女子大学人間文化研究科） |
| 16:20 | 3 | 高齢者の生理機能と介護用食品の開発 濱千代 善規（キューピー（株）研究所） |
| 17:00 | 4 | 摂食・嚥下障害者の介護と食事 金谷 節子（聖隷三方原病院・栄養科） |
| 17:40 | 5 | 総合討論 |

11月22日（土） シンポジウム - 2

「機能性食品の評価ー特定保健用食品からグローバルスタンダードへー」

| 時刻 | 演題番号 | 演 題 |
|------------------|------|--|
| 座長：池上 幸江（大妻女子大学） | | |
| 10:00 | 1 | 特定保健用食品の現状と食物繊維の評価 大隈 一裕（松谷化学工業（株）） |
| 10:35 | 2 | トクホの評価法の現状と問題点 梶本 修身（大阪外大保健センター（株）総合医科学研究所） |
| 11:10 | 3 | 欧州連合の機能性食品評価プロジェクト：PASS CLAIM 清水 俊雄（フレスコジャパン） |
| 11:45 | 4 | コーデックスにおけるグローバルスタンダードへの展開 浜野 弘昭（ダニスコジャパン（株）） |
| 12:20 | 5 | 総合討論 |

6. 講演者, 討論者, 座長へのお願い

1) 講演

講演時間：一般講演（発表15分，討論5分）

発表はスライドプロジェクター，Power Point（Windows, Macintosh），OHPを用意致します。発表者は発表の30分前までに何れを使用するか申し出てください。スライドはホルダーにセットし，試写してご確認ください。

2) 討論

討論の希望者は，座長の指示に従い，所属と氏名を述べてからご発言下さい。

3) 座長へのお願い

運営の都合上，当該時間の30分前までに会場へ到着し，受付に出席している旨をお知らせ下さい。発表演題についての質問が少ないときは，その周辺の問題に関連した話題などを引き出してください。

国際食物繊維シンポジウム2003のお知らせ

日時：平成15年11月27日（木）13：30～17：30
場所：（独）国立健康・栄養研究所（共用第一会議室）
〒162-8636 東京都新宿区戸山1-23-1

テーマ：食物繊維の定義、定量法、エネルギー評価
プログラム：

1. "The Dietary Fiber Hypothesis and Definitions Revisited"
Prof.Dennis T. Gordon（ノースダコタ州立大学）
2. 「食物繊維：定義・用語・分類」
"Dietary Fiber: Definition Term Classification"
海老原清（愛媛大学）
3. 「日本における食物繊維分析の課題と方向性について
—プロスキー法の簡便化ならびに分別定量法のあり方—」
"Some Ideas on Dietary Fiber Determination in Japan"
金谷建一郎（（財）日本食品分析センター）
4. 「日本における食物繊維の有効エネルギーの考え方とその評価法」
"Situation and Estimation for Available of Dietary Fiber in Japan"
奥恒行（県立長崎シーボルト大学）

参加費：無料

問合せ先：

日本食物繊維研究会事務局 山田和彦
〒162-8636 東京都新宿区戸山1-23-1
独立行政法人国立健康・栄養研究所 食品表示分析・規格研究部 気付
Tel. 03-3203-5602 Fax. 03-3205-6549

編集委員会より

本年11月21, 22両日に渡り株式会社大塚製薬工場・郡 英明氏を集会長に第8回学術集会が開催されます。今年はデニス・ゴードン博士による特別講演、摂食・燕下障害の介護食品ならびに機能性食品に関するユニークな郡集会長ならではのシンポジウムが企画されています。食物繊維研究の新しい展開に向けて有意義な集会となればと思います。徳島での学術集会に皆様是非ともご参加いただきますようお願いいたします。また、学術集会のすぐ後にゴードン博士をお招きして東京でもシンポジウムを開催いたします。こちらにも是非ご参加下さい。(青江)

会員状況：平成15年9月30日現在

| | | | | | |
|------|------|------|----|------|-----|
| 正会員 | 222名 | 学生会員 | 5名 | 賛助会員 | 45社 |
| 団体会員 | 4団体 | 名誉会員 | 8名 | | |

【賛助会員】

| | | |
|-----------------------------|--------------------|----------------|
| 参松工業株式会社 | 太陽化学株式会社 | 株式会社荻野商店 |
| 全国精麦工業協同組合連合会 | 大日本製薬株式会社 | 日本食品化工株式会社 |
| 佐合食品工業株式会社 | ダニスコジャパン株式会社 | 大塚製薬株式会社 |
| 雪印乳業株式会社 | 伊那食品工業株式会社 | 財団法人日本こんにやく協会 |
| 株式会社はくばく | 日本ケログ株式会社 | 株式会社林原生物化学研究所 |
| 社団法人菓子総合技術センター | 松谷化学工業株式会社 | サントリー株式会社 |
| オリヒロ株式会社 | 株式会社カイゲン | 富士バイオ株式会社 |
| 日清ファルマ株式会社 | 日本甜菜製糖株式会社 | 武田キリン食品株式会社 |
| 日本バイオコン株式会社 | 旭化成株式会社 | 株式会社横浜国際バイオ研究所 |
| 第一出版株式会社 | 清水化学株式会社 | 日清食品株式会社 |
| 三和澱粉工業株式会社 | 昭和産業株式会社 | 株式会社日健総本社 |
| 朝日食品工業株式会社 | フィプロ製薬株式会社 | 明治製菓株式会社 |
| ア-ラフ-ズ インク レイ イエンツ ジャパン株式会社 | コイト ナチュレル ジャパン株式会社 | 大和薬品株式会社 |
| 株式会社東洋新薬 | 日本エヌエスシー株式会社 | ロケットジャパン株式会社 |
| 株式会社大麦発酵研究所 | フジ日本製糖株式会社 | セレスタージャパン株式会社 |

(順不同)

日本食物繊維研究会 JDF News Letter No.16

発行日 : 2003年10月25日

発行人 : 日本食物繊維研究会会長 池田義雄

編集人 : 奥 恒行、青江誠一郎

事務局 : 日本食物繊維研究会事務局

〒162-8636 東京都新宿区戸山1-23-1

独立行政法人 国立健康・栄養研究所 食品表示分析・規格研究部気付

TEL : 03-3203-5602, FAX: 03-3205-6549 <http://jdf.umin.ne.jp>

印刷所 : 株式会社 交友社

〒136-0072 東京都江東区大島8-38-5

